

2010年度プログラミング言語II（計算機言語I）定期試験

2011.01.31.

国島丈生

1. 型、パターン

1. Standard ML の式 (`#"a"`, `(true, [1, 2, 3], 95.0)`, `["string", "integer"]`) の型を示せ。(10点)
2. 1. の式をパターン `(x, (y, z, w), v::vs)` に照合させるとき、各変数に束縛される値を示せ。(10点)

2. 関数

下記の関数を Standard ML で実装せよ。

1. リスト L から、2番目の要素を取り除いたリストを得る関数
`remove_second(L): 'a list -> 'a list`。 L の要素数が1以下の場合には `nil` を返すものとする。例えば `remove_second([1, 3, 4, 2, 5])` の評価結果は `[1, 4, 2, 5]` となる。リストの長さを求める下記の関数 `length` は宣言なしに用いてよい。(20点)
`fun length(nil) = 0`
`| length(x::xs) = 1 + length(xs);`
2. 2次元ベクトル (x, y) に対し、その長さ l は $l = \sqrt{x^2 + y^2}$ で定義される。
 - a) 2次元ベクトル (x, y) (x, y は実数) の長さを求める関数 `vec_length: real * real -> real` を実装せよ。実数の平方根を求める関数 `sqrt: real -> real` は宣言なしに用いてよい (例えば `sqrt(4.0)` の評価結果は `2.0` となる)。(5点)
 - b) 2次元ベクトルのリスト `[(x1, y1), (x2, y2), ...]` ($x_1, y_1, x_2, y_2, \dots$ は実数) に対し、各要素のベクトルの長さからなるリストを求める関数 `vec_length_list: (real * real) list -> real list`。例えば `vec_length_list([(1.0, 0.0), (3.0, 4.0), (5.0, 12.0)])` の評価結果は `[1.0, 5.0, 13.0]` となる。前問の関数 `vec_length` を使用してよい。(15点)
3. リストの1番目の要素と2番目の要素、3番目の要素と4番目の要素、…をすべて入れ替える関数 `swap: 'a list -> 'a list`。例えば `swap([1, 2, 3, 4, 5])` の評価結果は `[2, 1, 4, 3, 5]` となる。(20点)

3. 高階関数、データ型

下記の2問のうち、いずれかを選択して答えよ。両方解答してもよいが、その場合は点数の高かったもののみを合計点に加算する。(20点)

1. リスト $L=[x_1, x_2, \dots, x_n]$ について、その要素 $x_i (1 \leq i \leq n)$ を、関数 $p(x_i)$ が true になるものと false になるものとの分割する高階関数 `partition(p, L): ('a -> bool) * 'a list -> 'a list * 'a list` を実装せよ。例えば、`partition(fn x => x < 10, [1, 50, 3, 444, 20])` の結果は `([1, 3], [50, 444, 20])` となる。
2. 下記のデータ型 `'a btree` は2分木を表す。このとき、2分木 T 中に、ラベル x をもつ節点が含まれるかを返す関数 `find_in_btree(x, T): 'a * 'a btree -> bool` を実装せよ。例えば `find_in_btree(1, Node(4, Node(1, Empty, Empty), Node(2, Empty, Empty)))` は true となる。（ T は2分探索木とは限らないことに注意せよ）

```
datatype 'a btree = Empty | Node of 'a * 'a btree * 'a btree;
```

解答例

1. 型

1. `char * (bool * int list * real) * string list`
2. `x: #”a”, y: true, z: [1, 2, 3], w: 95.0, v: “string”, vs: [“integer”]`

2. 関数

1. `fun remove_second(L) =
 if length(L) < 2 then nil else hd(L) :: tl(tl(L));`
2.
 - a) `fun vec_length(x, y) = sqrt(x * x + y * y);`
 - b) `fun vec_length_list(nil) = nil
 | vec_length_list((x, y)::zs) = vec_length(x, y)::vec_length_list(zs);`
3. `fun swap(nil) = nil
 | swap([x]) = [x]
 | swap(x::y::zs) = y::x::swap(zs);`

2-2-a): `sqrt` 関数の引数が `real` 型でなければならないため、`x, y` も `real` 型と決まります。

2-2-a)で用いた関数 `sqrt` は、Standard ML の標準ライブラリに含まれています (関数 `Math.sqrt`)。したがって、実際に実行してみる場合は、`sqrt` を `Math.sqrt` に置き換えてください。

3. 高階関数、データ型

1. `fun partition(p, nil) = (nil, nil)
 | partition(p, x::xs) =
 let
 val (ys, zs) = partition(p, xs)
 in
 if p(x) then (x::ys, zs)
 else (ys, x::zs)
 end;`
2. `fun find_in_btree(x, Empty) = false
 | find_in_btree(x, Node(a, l, r)) =
 x = a orelse find_in_btree(x, l) orelse find_in_btree(x, r);`